

佐世保市立白南風小学校



所在地 佐世保市山祇町387番地
校長 三代 直正
児童数 274名 学級数 15学級

教育目標

夢をもち、心豊かでたくましく生きる
児童の育成

めざす子ども像

- やさしさいっぱいの子
- やる気いっぱいの子
- 元気いっぱいの子

☆テーマ

豊かな心を育む教育活動と未来へ向けた学力向上への取組

☆目的

学校教育目標の具現化を図るために、以下の視点から校長の経営ビジョンに基づく教育実践を行う。

- (1) 豊かな体験活動
- (2) 確かな学力の定着
- (3) 家庭・地域との連携充実



☆内容

豊かな体験活動

①花いっぱい運動（全学年）

植物の栽培を通して生命を大切にする気持ちを育むための手立ての一つとして取り組み、豊かな心を育てる。

②赤ちゃんふれあい事業（5年生）

幼児教育センターと緊密に連携した「赤ちゃんふれあい事業」に取り組み、赤ちゃんとその母親の姿から、親子の絆や親の愛情の深さを感じたり、子育てについてインタビューしたりすることで、命の尊さを感じ、生命尊重の心を養うことができた。



③ 保幼小交流・接続活動（全学年）

同じ敷地内にある白南風幼稚園や、近隣の保育所、幼稚園の幼児との交流を通して、全学年が授業実践を行うことができ、思いやりの心を育むことができた。特に1年生は接続カリキュラムを意識して、幼稚園との共通点や相違点を見出すことで、相互の成長の様子を見ることができた



園児を夏休み作品展に招待(6年)



園児と一緒にダンス(4年)



園児とお芋パーティー(2年)

④ 図書ボランティア・読書活動の充実（対象：全学年 通年 内容：本の読み語り）

読書に関する関心を高め、情操を豊かにすることができた。また、8割以上の児童が、年間100冊読書の目標を達成することができた。

- ① 図書ボランティアによる読み聞かせ（低中高別に週1回、月1回昼休みに実施）
- ② 目標冊数の設定（年間100冊読書）
- ③ 図書室の整備（蔵書点検と整理、掲示物づくり）
- ④ ビブリオバトルや読書ビンゴ、ブックトークなど子どもの読書意欲を高める工夫
- ⑤ 職員による読み聞かせ、児童同士のペア（低学年と高学年）読書



⑤ 講師招聘による講演会・体験学習」（対象：全学年 通年）

講師招聘による講演や体験学習により、豊かな心を育み、自己肯定感を高めたり、自分の健康を守ったりする意識を高める。

全学年：三味線ナビ（子供育成総合事業11月、12月）

全学年：交通安全教室(4月)

6年：租税教室（6月）

5年：赤ちゃん触れ合い事業（6月、11月）

4年：平和学習見学(6月)

6年：薬物乱用防止教室（7月）

3年：佐世保独楽絵付け及び独楽体験学習（7月）

5年：思春期講演会（9月）

4年：Fun English Camp（9月）

4年：ふるさと体験学習（9月）

5年：宿泊体験学習、沢登り体験（9月）

- 3年：スーパーマーケット見学(9月)
- 1年：生活科遠足「佐世保公園～秋をみつけよう」(10月)
- 2年：生活科遠足「バスに乗ろう・図書館見学」(11月)
- 5・6年：飼育動物講習会(11月)
- 3・4年：そろばん教室(11月・2月)
- 3年：社会科見学「消防署・警察署見学」(11月)
- 全学年：のびのびデー「読み語り・福祉体験・出店」(11月)
- 2年：いも掘り体験(11月)
- 4～6年：自己肯定感を高める講演会(11月)
- 1年：昔遊び体験(1月)
- 3年：福祉体験(2月)

確かな学力の定着

① 基礎基本の徹底(対象：全学年 時期：通年)

読解力向上のためのドリル学習や12月に国語の標準学力調査を全学年実施し、学力向上を目指した。全国・県・市の学力学習状況調査において、全国平均を上回る結果となった。

② 校内研修の充実(対象：全教職員 時期：通年)

授業研究や佐世保市教育センターの研修成果を校内で共有し合うことで、教師の意識改革と授業力向上につなげることができた。学びの白南風スタンダードや3つの構えを全学年の共通指導事項として確立し、児童の学力向上へとつなげることができた。



③ NIEの活動(対象：全学年 時期：6月～12月)

学校生活の中に新聞を取り入れ、様々な情報に興味をもち、新聞のもつ力(読解力や発信力等)を知ることができ、活用することができた。

家庭・地域との連携充実

① あいさつ運動の強化(対象：全学年 時期：通年 あいさつ運動)

保護者や地域との連携を通して、明るい挨拶が交わされる町づくりに貢献した。また、山澄地区コミュニティーセンターと協働し、山澄地区の人同士の結びつきを大切にするために、山澄フェスティバル、クリスマスコンサート、かくし芸大会、標語づくり活動に取り組み、地域の方と児童の結びつきを深めるとともに、地域全体で子どもたちを育てていこうとする機運を高めることができた。さらに、地域の民生委員・児童委員・公民館長・市役所と連携し、通学路合同点検を実施した。

②学校支援会議「白南風っ子支援会議」（対象：地域・学校評議員 時期：年2回）

会議を通して、学校関係者評価等を実施することで学校運営の充実を図ることができた。

③ 徳育推進活動（対象：全学年 時期：通年）

高学年を中心に、プラスワン活動として、朝のあいさつ運動、交通安全、清掃活動など主体的に取り組むことができた。ボランティア精神を育み、将来に渡って積極的な行動ができる児童の育成に努めることができた。

